第6回 2013 白馬会議

信州白馬に生まれる「ダボス会議空間」へようこそ！

「西のダボス、東の白馬」……白馬会議は学会でも、財界セミナーでも、評論家やジャーナリストだけの集まりでもない。この会議の魅力は一人一人の知的な個人がそれぞれの生きざまやバックグランド、問題意識を持って国内外から集まり、白馬の大自然の中で心ゆくまで議論し合うところにある。といって一過性の会議イベントでもない。『世界経済評論』誌（1953年創刊）の新年号に、毎年、詳細な討議記録が刻印されていく壮大な「知の渦」の創造プロセスでもある。

〈第１回白馬会議（2008年）開会宣言より〉

統一テーマ **起死回生！ニッポン** ―「この3年」で何を実現すべきか―

この7月の参院選で自公与党は衆参のねじれを解消した。少なくとも次期参院選までの3年間は憲法改正発議以外、如何なる議案も可決可能な国策決定力を持つ。一方、世論のムードも自民党のスローガン「取り戻せ日本」「動き出す日本」ではないが、デフレ経済に沈んだ「失われた20年」からの「解放」を確かに渇望している。将に“起死回生!ニッポン”だ。しかし、「この3年」の内に私たちは何をどう変え、どう実現しようとしているのか?今年の白馬では、起死回生の本筋論を徹底討議します。

開催期間 **2013年11月23日土～24日日**

開催会場 **長野県白馬村「シェラリゾート白馬」**
http://hakuba.sierra.ne.jp/welcome.html

【東京駅からの所要時間】長野新幹線で長野駅下車、白馬直行バスで約２時間半。
【名古屋駅からの所要時間】松本駅で特急乗り継ぎ白馬駅下車で約３時間。

主　催 **一般社団法人 世界経済研究協会**

協　賛 **長野銀行・眞露**　**後　援** **外務省・長野県経営者協会**

シェラリゾート白馬

【参加定員】 100名（参加者が50名を超える場合、宿泊のみシェラリゾート白馬に隣接するホテルとなります。）

【参加費用】 １名２万８千円（１泊４食の滞在費にて、会議運営費、資料代等を含む。日帰り等参加形態により費用額の調整あり。）
（前泊合せ２泊６食の場合は１万２千円追加となります。）

【参加申込方法】「白馬会議参加希望」と明示、氏名・所属及び連絡先の住所、TEL＆FAX番号を記し、メール：forum@sekaikeizai.or.jp または Fax：03-6423-0056までお送り下さい。折り返し、申込書及び参加費請求書をお送りします。

【申込締切】 定員になり次第、締め切ります。

【問い合わせ】
〒107-0052　東京都港区赤坂５丁目２-41　赤坂サンクビル203　（一社）世界経済研究協会
TEL：03-6423-0057　FAX：03-6423-0056　E-mail：forum@sekaikeizai.or.jp

◉(一社)世界経済研究協会（Association for World Economic Studies）と白馬会議◉　世界経済研究協会は「世界経済の中の日本の針路を考える」をモットーに1963年創設。会員は世界経済をリードする有力企業群からなる団体（法人）会員とともに、一人の知的個人として本協会の活動に賛同する個人会員によって構成されている。協会活動の主軸は1953年創刊の『世界経済評論』誌の発行であり、同誌の特集テーマとリンクする形で展開する『世界経済評論フォーラム』（東京都内で年５回開催）と100名近い執筆者ネットワークから毎週波状的に発信されるWEBコラム『世界経済評論IMPACT』とがダイナミックな“知の渦”を形成し、その「年次総括型討議の場」として設けられたのが白馬会議である。白馬での討議成果は毎年１月に発行される『世界経済評論』白馬会議総特集に掲載され、“知の年次白書”として毎年積み重ねられていく。

hakuba2013mag.indd 1　13/08/28 12:39

プログラム

統一テーマ 起死回生！ニッポン —「この３年」で何を実現すべきか—

日本は何を取り戻し、どこに向かって動き出すのか？ アベノミクスの目指すベクトルは依然曖昧だ。日本の改革に横たわる根本問題を直視し、それに挑戦しない限り「失われた20年」後の「新しい日本」は見えてこない。今年の白馬討議では、この根本問題解決への切り口として下記３つの〈サブテーマセッション〉を設けた。

【サブテーマセッション】

サブテーマ・Ⅰ 「超人口減少社会日本の課題と挑戦」

［基調報告者］金子 隆一 氏（国立社会保障・人口問題研究所副所長）

プロフィール◉東京大学理学部卒。ペンシルバニア大学大学院博士課程修了後、国立社会保障・人口問題研究所入所、人口動向研究部長を経て現職。我が国人口問題の第一人者。「日本は21世紀の大半を通して人口が恒常的かつ劇的に減少して行く世界で最も高齢化の進んだ国である。これほどの高齢化を経験した国は歴史上どこにもなく、日本は前人未踏の地を世界の先頭に立って進んでゆくことになる。これまで長らく人口成長と山型の年齢構成を前提として築いてきた経済や社会保障の仕組みは、大きな試練の時代を迎えている」と説く。

サブテーマ・Ⅱ 「リーマンショック後の世界経済変動と日本の役割」

［基調報告者］郭 四 志 氏（帝京大学経済学部教授）

プロフィール◉中国・大連生まれ。吉林大学大学院修了。1989年来日。法政大学大学院科博士後期課程修了（経済学博士）、東京大学社会科学研究所外国人研究員、日本エネルギー経済研究所研究主幹等を経て現職。 中国のエネルギー産業や直接投資動向の分析における現地情報力では高い評価を得ているのみならず、日本在住中国人学者としてのユニークな世界経済分析や日本経済論においても注目される。リーマンショック下の第１回白馬会議でも基調報告をしており、今回は５年間の総括と将来展望に挑む。

サブテーマ・Ⅲ 「日本経済再生への道」

［基調報告者］三輪 晴治 氏（ベイサンド・ジャパン社長）

プロフィール◉九州大学経済学部卒。日本自動車機器メーカー東ブレ社を出発点にテラダイン社での幹部経験を始め、米国半導体・ＩＴソフト業界の様々な革新企業家たちとの交流を通して、米国資本主義の強さと怖さを知り尽くす。辣腕の実践経営者であると同時に国家的視野からの経営戦略論には強烈な説得力を持つ。「日本もアメリカのように〈市場原理主義〉という“奔馬”をイノベーション目指して、ときに解き放ち、暴れさせるが、それをコントロールする“御者”を〈国のかたち〉として持たねばならない」と説く。

【ディナースピーチ】「幸せになる生き方、働き方」［スピーカー］塚越 寛 氏（伊那食品工業会長）

プロフィール◉長野県駒ケ根市生まれ。伊那北高校を闘病のため中退。伊那食品工業に入社。相場商品であった寒天の安定供給体制を確立し、医薬、バイオ、介護食などの新市場を開拓、1958年の会社設立から48年間連続の増収増員増益を達成する。「不況とは、人間が勝手につくった好景気の反動に過ぎない。自分の体力の限界を超えて走り続け、途中で息が切れて倒れ込んでいるようなもの。二十一世紀には好不況の波がなくなり、大木がゆっくりと天に向かって伸びるような末広がりの社会が実現するのを祈る」と説く。

タイムテーブル

	時間	プログラム	進　行
11月23日（土）	12：20	オープニングランチ	ウェルカムスピーチとともに、シェラリゾート自慢の金澤シェフによるランチが始まります。参加者全員に30秒自己紹介をお願いします。
	13：25		
	13：30	サブテーマセッションⅠ「超人口減少社会日本の課題と挑戦」	今年の白馬会議の本格討議が始まります。先ず50分間の基調報告。続いて10分間のコメンテーター（1名）発言。その後、25分間にわたって参加者と基調報告者間でQ&Aを展開。
	14：55		
	15：00	サブテーマセッションⅡ「リーマンショック後の世界経済変動と日本の役割」	続いてサブテーマⅡのセッションに入ります。進行はセッションⅠ同様、基調報告→コメンテーター発言→会場Q&Aとなります。熱いコーヒー・ティーが会場にセットされますので、自由にお楽しみ下さい。
	16：25		
	16：30	サブテーマセッションⅢ「日本経済再生への道」	サブテーマ３つ目です。午後一杯かけて一気呵成に討議を重ねていきます。この頃、会場の熱気は一段と高まり、参加者１人１人が白馬での議論の醍醐味を実感し始めます。
	17：55		
	18：15	カクテルレセプション	ディナー前に一息入れましょう。一言スピーチが賑々しく連発されます。
	18：45	テーブルディナー	さてお待ちかねの金澤シェフ渾身の白馬ディナー、立食ではありません。じっくり座って天下の美味とワインとお隣り同士の議論(?)を楽しんで下さい。コーヒー・デザートタイムの頃になると塚越さんのディナースピーチが始まります。
	20：15	ディナースピーチ	
	21：00	ナイトトークセッション（任意）	熱気冷めやらぬ人にはラウンジにコーヒー・ティーをセットしますので、三々五々集まっておしゃべりを楽しんで下さい。あるいは源泉100%かけ流しの「古民家の湯殿」で思いっきりリラックスして下さい。
	22：00		
11月24日（日）	7：00	朝食（この時間帯でご自由に）	シェラリゾート白馬の朝食バイキングも和洋超豪華。流れ下る滝を望むレストランで、ゆったりたっぷり晩秋の美味を楽しんで下さい。
	8：30	スピークアウトセッション	「今年の白馬でこれだけは言っておきたい！」そんな方、大歓迎。１人10分ぐらいのスピーチを目覚ましコール代わりに聞きましょう。
	9：30		
	9：40	クロステーマセッション	さあ今年の白馬会議も佳境に入ります。サブテーマセッションの３人の基調報告者がお互いのテーマをクロスさせながらパネルディスカッションを展開しますが、基調報告者同士の忌憚のない質問の応酬は見物です。これに参加者とのQ&Aが続き、今年の白馬会議統一テーマに対する参加者それぞれの総括が見えてきます。
	12：00		
	12：10	クロージングランチ	あっと言う間の白馬タイムがエンディングを迎えます。知力・気力充実。参加者は美味の特製サンドイッチで腹ごしらえをして、それぞれの「現場」に帰って行きます。
	13：20		